

喜幸会

町びとインタビュー 議会にあなたの声を



きらくざ 喜楽座

としゆき
津軽三味線井坂流家元・井坂斗絲幸氏(あみ大使)が
率いる日本伝統芸能集団。
きこうかい
民謡・津軽三味線を教える「喜幸会」の活動も行う。

令和4年9月11日 喜幸会45回定期公演
牛久市中央生涯学習センター・文化ホール

2ページ

審議結果

3 組合統合、賛成多数で可決

6ページ

一般質問

8 人の議員、町政を問う

11ページ

委員会活動

常任委員会で先進地を視察

14ページ

議会活動

マニフェスト大賞授賞式

20ページ

町びとインタビュー

議会にあなたの声を

阿見町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
法改正に伴い、引用する法律の条項番号を改める改正
阿見町職員の公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正
法改正に伴い、公益的法人等への派遣対象から役職定年制の特例として管理監督職を務める職員を除外する改正
阿見町企業職員の給与の種別及び基準に関する条例の一部改正
法改正に伴い、定年前再任用短時間勤務職員である企業職員について、町職員と同様に扶養手当、住居手当、退職手当の対象外とする改正
阿見町職員の再任用に関する条例の廃止
法改正に伴い、再任用制に代わる暫定再任用制や定年前再任用短時間勤務制が他の条例で定められることによる条例の廃止
阿見町一般会計補正予算（第6号）※2 P4 参照
5億4千4万9千円増額 【主な歳入】新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、出産・子育て応援交付金 【主な歳出】特定空家解体等委託料、介護サービス事業者等・保育施設等への物価高騰対策支援金、認定農業者等への農業用生産資材価格高騰緊急対策事業補助金、運送事業者への運送事業者支援金、出産・子育て応援給付金、町民体育館大規模改修工事に係る設計委託料、各施設の光熱費
阿見町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
168万6千円増額（国庫支出金等返還金等）
阿見町介護保険特別会計補正予算（第2号）
1,299万4千円増額（介護予防サービス給付費、国庫支出金等返還金等）
阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
449万9千円増額（保険基盤安定納付金等）
阿見町水道事業会計補正予算（第3号）
収益的支出を1,443万5千円増額（浄水場・配水場の電気使用料等）
阿見町下水道事業会計補正予算（第3号）
収益的収支を700万5千円増額（ポンプ場・処理場の電気料等）、資本的収支を8万2千円減額（共済組合負担金）
防交第1-1号都市計画道路寺子・飯倉線道路新設工事請負変更契約
路床用砕石材の変更、樹木の伐根処分等の数量確定による変更等を行うための工事請負変更契約。契約金額を1億1,135万3千円から1億2,036万2千円に変更（予定価格5,000万円以上の工事請負契約は議会の議決が必要）
土地の処分
荒川本郷地区の町有地2万978㎡について宅地造成を計画する事業者に売払いするもの。契約金額8,840万円（予定価格700万円以上かつ5㎡以上の土地の売払いは議会の議決が必要）
阿見町教育委員会委員の任命
任期が令和4年12月14日までの教育委員会委員の再任命について議会の同意を求めるもの
阿見町職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づき、職員の初任給と若年層給料を民間企業の水準に合わせて平均0.3パーセント引き上げるほか、勤勉手当の率を引き上げるもの
阿見町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づき、特別職の期末手当の率を引き上げるもの
阿見町の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正
人事院勧告に基づき、特定任期付職員の給料月額と期末手当の率を引き上げるもの
阿見町一般会計補正予算（第7号）
1,901万9千円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）
阿見町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
53万1千円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）
阿見町介護保険特別会計補正予算（第3号）
39万円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）
阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
13万3千円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）
阿見町水道事業会計補正予算（第4号）
収益的支出を21万9千円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）
阿見町下水道事業会計補正予算（第4号）
収益的収支を44万2千円増額（人事院勧告に基づく給料、勤勉手当等）、資本的収支を4万4千円増額（人事院勧告に基づく勤勉手当等）
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
中学校での35人学級の実施、学校の働き方改革・長時間労働是正のための教職員定数改善、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるための義務教育費国庫負担制度の堅持を実現する政府予算編成を行うことを求める意見書を国へ提出することの請願
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算編成を行うことを求める意見書を国に提出するもの



色がついている議案は、質疑または討論を掲載している議案です。



令和4年第4回臨時会
令和4年10月20日



全議員が賛成した議案等
阿見町一般会計補正予算（第4号）
2億8,168万3千円増額 【主な歳入】非課税世帯等臨時特別給付金事務費補助金・物価高騰緊急支援分 【主な歳出】非課税世帯等臨時特別給付金、国庫支出金等返還金

令和4年第5回臨時会
令和4年11月21日



全議員が賛成した議案等
阿見町一般会計補正予算（第5号）
902万5千円増額 【主な歳入】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校給食分担金（減額）※4か月分の給食費を無料にするもの 【主な歳出】新中学生お祝い事業負担金

令和4年第4回定例会
令和4年12月6日 初日 ～ 12月20日 最終日



全議員が賛成した議案等
阿見町職員の定年等に関する条例の一部改正※1 P4 参照
国家公務員に準じて地方公務員の定年年齢が段階的に60歳から65歳まで引き上げられる法改正に伴い、定年年齢の引き上げ、管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）、定年前再任用短時間勤務制、暫定再任用制などを定める改正
阿見町職員の給与に関する条例の一部改正
法改正に伴い、60歳を超えた職員の給与水準を7割とするとともに、定年前再任用短時間勤務職員や暫定再任用職員の給与について定める改正
阿見町職員の降給に関する条例の一部改正
法改正に伴い、管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）における降給に対応するための改正
阿見町職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部改正
法改正に伴い、給与水準7割措置前に行われた減給処分が7割措置後まで及ぶ場合の減給額の取扱いを明確にするための改正
阿見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
法改正に伴い、定年前再任用短時間勤務職員や暫定再任用職員の勤務時間、休暇等を定める改正
阿見町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
法改正に伴い、育児休業等の対象者から役職定年制の特例として管理監督職を務める職員を除外する改正

教育委員決まる

任期満了に伴い、議会の同意により次の方が教育委員に決まりました

湯原敦子 若栗 61歳

賛否が分かれた議案

議案名	議決結果	賛否数	議員名														
			賛成	平岡博	栗田敏昌	石引大介	高野好央	樋口達哉	栗原宣行	飯野良治	野口雅弘	海野隆	久保谷充	川畑秀慈	難波千香子	紙井和美	柴原成一
			反対														
龍ヶ崎地方衛生組合の解散	原案可決	12 2			○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
将来を見据えた広域行政の展開に向け、稲敷地方広域市町村圏事務組合に龍ヶ崎地方塵芥処理組合と龍ヶ崎地方衛生組合を合流させる3組合の統合・複合化を行うため、龍ヶ崎地方衛生組合の解散について議会の議決を求めるもの。																	
龍ヶ崎地方衛生組合の解散に伴う財産処分	原案可決	12 2			○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
3組合の統合・複合化のための龍ヶ崎地方衛生組合の解散に当たって、その財産を稲敷地方広域市町村圏事務組合に帰属させるため、議会の議決を求めるもの。																	
稲敷地方広域市町村圏事務組合規約の変更	原案可決	12 2			○	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
3組合の統合・複合化のための稲敷地方広域市町村圏事務組合の規約の変更について、議会の議決を求めるもの。																	

※議長（平岡博議員）は、賛否同数のとき以外は表決に加わりません。
※「○」は賛成、「×」は反対、「－」は欠席を表します。

反対します

海野 隆 議員

3組合を統合・複合化するためには、組合を構成する全市町村議会での可決が必要だが、すでに12月6日に美浦村議会で全会一致で否決された。当町が議決しても効力が発生せず、統合が実現できない。実質的に意味のない議案は取り下げられるべきだと思い、反対する。

討論

久保谷 実 議員

阿見町義会の意向を知りたいという全協での説明があり、そのような思いで上程された。そのような思いに応える観点から賛成する。

賛成します

吉田 憲市 議員

この件は、8市町村の首長会議の中で1行政団体でも反対しただけでないと聞いている。美浦村議会でも否決となった以上、結果は出ている。阿見町の意向を示したとしても結果にはつながらず、これらの議案は取り下げられるべきだと思い、反対する。

可決

野口 雅弘 議員

今回は、議員がどのような考えでいるのかを知りたいということなので、知りたいならお答えしましょうという思いで賛成する。

令和4年度阿見町一般会計補正予算（第6号）

- 問 中郷保育所、南平台保育所、二区保育所に1台ずつ購入する約100万円の空気清浄機の性能について。
- 答 国内で初の技術の低温プラズマ放電技術を採用しており、保育所ホールの広い空間で使用するため大規模な空間を空気清浄できる機能を持つ。



- 問 「放課後児童施設整備事業」 184万8千円について。
- 答 本郷小学校の放課後児童クラブで借りていたプレハブを返し、代わりの建物を近隣の町有地に建設するための測量費です。

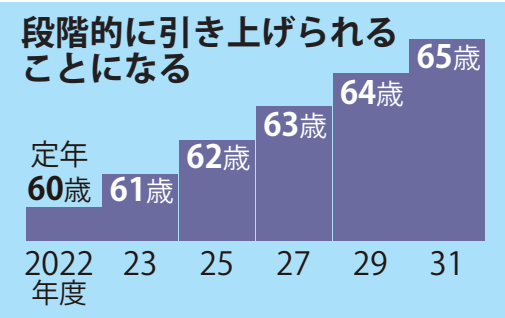
令和4年度阿見町一般会計補正予算（第6号）

- 問 運送事業者支援金の個人事業主に対する通知をどのようにするのか。
- 答 町の広報媒体のほか、商工会や赤帽茨城県軽自動車運送協同組合等との連携、委託元への情報提供により周知を図る。
- 問 農業用生産資材価格高騰緊急対策事業補助金の内訳は。
- 答 対象者は認定農業者と認定新規就農者97名で、令和3年度にかかった肥料代、飼料代、動力光熱費の10パーセントを20万円まで支援するもの。
- 問 ふるさと納税事業の広告料33万円の内容は。
- 答 利用者が多い楽天ポータルサイトの有料広告について、応募して決まった1月枠と3月枠の費用の不足分です。



阿見町職員の定年等に関する条例の一部改正

- 問 定年制度を60歳から65歳に改める条例の改正によるメリットとデメリットは何か。
- 答 将来に向かって不足する知識を後世に伝えることができるということがメリット、課題は、退職者が出ない年の採用平準化。人件費は増えていく。



令和4年度阿見町一般会計補正予算（第6号）

- 問 クリーンセンターで電気使用料が大幅な増額になっている。増額の要因と昨年度との比較、電気購入先について説明を求めたい。
- 答 燃料調整単価の上昇が要因。令和3年度決算額では約4,890万円だったが今回の補正で今年度総額は9,150万円と倍増。電気購入先は「エバグリーン・マーケティング」。比較し安価なところと契約している。



心の不調により休職する 町職員は、減少したか



問 今年度の退職者や休職者の現状は、どのようになっているか。

答 心の不調により療養休暇を取得した一般職員は18名で療養後、退職した職員は1名。教職員の休職者は、2名となっている。

問 令和3年までの10年間の状況は、どのようになっているか。

答 平成24年度から令和3年度までの療養休暇者は、4名、5名、4名、8名、3名、8名、8名、13名、18名、14名となっている。

問 復職後、再度療養休暇を取得した職員は2名。

問 欠員の対応は、どのようにしているか。また、費用総額はどの位か。

答 欠員は、他部署からの応援や会計任用職員、派遣社員で対応している。今年度の派遣会社への支払い総額は、1千135万円となっている。

問 労働契約法第5条について、どのように理解し対応しているか。

答 労働者の安全配慮を規定し、使用者の配慮義務が明文化されている。安全への配慮が必要と考えている。

問 阿見町の職員は足りているか。

答 令和4年4月1日現在の職員数は340名。条例定数は406名で、充足率は84%。今後、条例の見直し等により適正な職員を確保していく。

問 ハラスメント防止規程の対象は職員のみか。

答 ハラスメント防止規程の対象はメンタ防

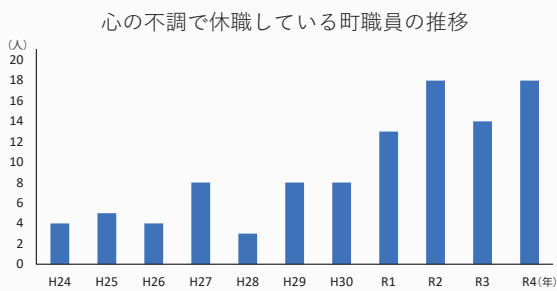
止に関する規程は一般職員を

対象としており、特別

職は対象外となっ

ている。

心の不調で休職している町職員の推移



柴原 成一 議員



元稀勢の里関の動画を 視聴できないか



問 元稀勢の里関の優勝額が掲示されるが、日本中を感動の渦に巻き込んだ稀勢の里を若い方の中には知らない人もいるのではないか。また、稀勢の里の活躍をすでに知っている方にも、いつでも昔の活躍を見れる場を提供してはどうか。

答 白鵬の63連勝を止め、2度優勝した日本人の最後の横綱である稀勢の里。優勝額の展示と同時に、動画を視聴していただけるような企画はできないか。

問 6月に開催した「特別展示会」の期間中において、二所ノ関部屋が制作した動画をお借りし、部屋の内部の様子や稽古の様子などを紹介するとともに、稀勢の里関の思い出に残る取組みを放映している。

答 また、12月17日からは中央公民館で、「稀勢の里関」が大関の時代に初優勝した「平成29年初場所」の優勝額を、化粧廻しや明荷とともに常設展示するほか、19日から

役場ロビー、来年2月下旬から予約科練平和記念館において、化粧廻しと明荷を常設展示することに合わせ、二所ノ関親方からのメッセージ動画の放映も検討している。

なお、優勝額の展示と同時に放映する動画については、以前お借りした二所ノ関部屋制作の動画や、日本相撲協会等が所有する動画が想定されるが、著作権等が発生するので、内容を精査し、あらためて二所ノ関部屋や日本相撲協会との調整を図り、動画放映に向けた取り組みを進めていく。



▲中央公民館に展示されている優勝額

高野 好央 議員



地区公民館維持管理費の増大を 抑制するアイデアはあるか



問 中央公民館を除く5館の令和4年度予算額は1億3500万円であり、この金額を5館で割れば1館あたり2700万円となる。これに旧実穀小地区公民館を加えると1億6000万円を超えるが、限られた財源の中、費用対効果を考えたとき妥当なのか。現在の方針・考えは。

答 各施設では会計年度任用職員の採用により、管理コストの削減に努めている。さらに計画的・効率的な改修工事を行うことで、長寿命化を図り、多くの町民に多年にわたり継続使用していただくことで費用対効果が高くなると考える。

問 町としては公共施設維持管理費の増大により、他事業への影響をどの様に考えているのか。

答 適切に事業の優先順位をつけたうえでコスト削減を図り効率的な事業の実施に努めたい。

問 コスト抑制のアイデアは。

答 各施設の計画的な修繕・改修・

予防保全を行う事で、維持補修に係る財政負担の軽減・平準化を図っている。

問 指定管理者制度導入の考えは。

答 平成28年10月に「阿見町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」同施行規則が制定・公布されているが未だ導入には至っていない。今後、先進市町村の情報収集など調査研究を行っていく。

問 地区公民館と他公共施設の複合化の考えは。

答 公民館では、多機能を受け入れる為のスペースが不足しており、既存施設では困難だと考えている。複合化は、

町民サービ

スに大きな

影響を及ぼ

すことも想

定され、慎

重に取り組

んでいく必



▲地区公民館（ふれあいセンター）

川畑 秀慈 議員



義務教育における主権者教育



問 学校現場において児童生徒の意見を取り入れることは、積極的に進んでいるか。

答 令和4年6月に成立した「こども基本法」には、子どもの意見表明機会の確保、子どもの意見の尊重が基本理念として掲げられている。学校現場においては、子どもの権利を尊重し、これまで以上に、積極的に児童生徒の意見を取り入れていきたい。

問 子どもは主権者なのか、それとも違うのか。

答 子どもも等しく主権者であると認識している。

問 海外の主権者教育について研究はしたのか。

答 教育委員会として研究は ongoing になっていないが、参考になる事例があれば、取り入れていきたい。

問 次年度からスタートする教育振興基本計画には、主権者教育の位置付け及び計画は入っているのか。

答 社会の変化に対応できる子ども

の育成を目指す
具体的施策の一
つとして主権者
教育を位置付け
ている。



障害者優先調達推進法の 推進状況

問 今後町において、法の推進をどのように行うのか。

答 引き続き、全課対象に協力依頼を実施し、併せて「阿見町工業に関する懇談会」で町内企業への説明も行っていく。

また、町内の障害者就労施設等についての情報等をホームページへ掲載し、窓口で事業所一覧の配布等を行い、周知を図っていく。

難波 千香子 議員



女性の命と健康を守る取組み



問 子宮頸がんの80～90%を防ぐ9価HPVワクチン定期接種対応は。

答 令和5年度は9価ワクチンの情報を掲載し接種勧奨する通知費用を予算化。また、未接種者への再通知も行い、積極的に勧奨する。

防災対策・地域の防災力向上

問 避難行動要支援者への対応は。

答 要支援者は令和4年1月時点で7千907人のうち個別避難計画作成者は1千208人。避難支援者確保や支援者負担軽減が課題。

問 安否確認訓練の全地域実施は。

答 富士団地地区で実施した無事の合図として白タオルを玄関先に掲



▲白タオル掲示の安否確認訓練（富士団地）

げる訓練は、各地区の参考となるため情報提供と実施の支援を行う。

問 公共施設のエレベーター内への防災チェアの設置は。

答 閉じ込め対策として、ライト、水、簡易トイレ等を装備し、役場庁舎から順次、設置していく。

問 地域の防災力向上に繋げるため防災士養成講座受講者への助成は。

答 補助制度の創設に向けて検討し、町としても独自開催を研究する。

問 AEDに女性用三角巾の保管は。

答 男女差の解消や救命率に効果的と考え、前向きに検討する。

ごみの回収方法と減量・資源化

問 ごみ排出量県内10番目に多いが、雑紙の回収促進袋・保存版チラシの配布やエコショップ店舗拡充は。

答 意識啓発し、配布や拡大する。

問 高齢者等へふれあいごみ収集は。

答 アンケート調査し支援制度の基準を検討し実施に向けて取組む。

【辞職】

落合剛議員が令和4年12月2日に茨城県議会議員一般選挙に立候補したことに伴い、公職選挙法第90条(立候補のための公務員の退職)の規定により阿見町議会議員の職を自動失職しました。

【委員の変更】

- 産業建設常任委員会
委員 野口 雅弘 議員
- 予算決算特別委員会
副委員長 高野 好央 議員
- 広聴広報特別委員会
委員 樋口 達哉 議員
- 議会改革等調査研究特別委員会
委員 柴原 成一 議員



12月6日 定例会の様子



12月7日 定例会の様子

常任委員会・特別委員会
委員会活動

Until January 2023

各議員が専門的な委員会に分かれて、議案や請願・陳情などの審査、視察や研修を行う各常任委員会や特別委員会の活動をご報告します。

委員会の仕組みについては下記をご参照ください。
<https://www.town.ami.lg.jp/0000000990.html>



議員の仕事は会議だけじゃない！
現場も大事なんだ！

総務常任委員会

男女共同参画社会づくりのための取組み

鹿嶋市は、行政における幹部職員である女性管理職の割合が32.5%で県内第1位。全国市町村ランキングでも第7位という上位にある。平成28年に「鹿嶋市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主事業計画」を策定し、「令和3年度（2021年）までに女性管理職割合を20%以上にする」という具体的目標値を定めた結果、比率が高まった。令和3年度策定の現計画では、令和7年度までに35%にするという目標値を設定していた。



茨城県庁

ごみ処理体制

阿見町が加入する3つの広域行政の統合化・複合化が進んでいる中、最新のごみ焼却場施設の視察を通じて、「阿見町の次のごみ処理体制をどうするか」という目的で、令和4年8月に竣工稼働した江戸崎地方衛生土木組合の新ごみ焼却場を視察した。70トン/日と小規模ながら24時間連続燃焼で、発電によるサー



江戸崎地方衛生土木組合 環境センター

令和4年10月13日 鹿嶋市・茨城県庁



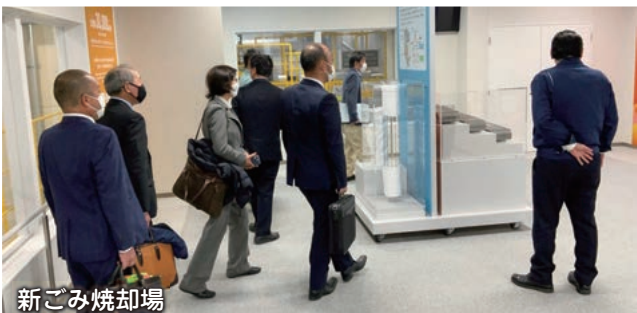
鹿嶋市



茨城県庁

令和4年11月17日 江戸崎地方衛生土木組合

マルリサイクルも行っていた。阿見町のごみ処理は、一人当たりごみ排出量が全国や茨城県の平均値を上回っていること、その減量のためには、「生ごみの減量化」と「ごみの分別徹底」が必要であること等が課題となっている。



新ごみ焼却場

産業建設常任委員会

令和4年11月8～9日 山形県寒河江市・山形市

観光協会の法人化・プレミアム付き電子商品券アプリの視察研修

商工観光分野の先進事例について、現地での視察研修を実施した。

寒河江市では、法人化前は阿見町と同じように市の商工観光課内に観光協会があった。法人化後も職員3名の小規模な組織だったが、法人化で信用を高め、ふるさと納税業務の受託で収益を確保し、現在では職員26名の規模で、フットワークの軽さというメリットを活かしながら指定管理事業や通信販売・飲食物販売なども実施できるようになったとのことだった。

山形市では、独自のスマートフォンアプリでプレミアム付き電子商品券を運用する「ベニPay」を導入した。阿見町のように既存のアプリを使わなかったのは、プレミアム分を市内で流通させるため、電子化により加盟店の換金の手間を大幅に省けるなど、様々なメリットがあったとのことだった。

研修のほか、寒河江市では観光物産協会が入る道の駅を訪問し、山形市ではベニPayを実際に使ってみるなど、実体験を通じてより理解が深まった。



寒河江市立図書館で研修と質疑応答



山形市役所で研修と質疑応答

広聴広報特別委員会

令和5年1月18日 阿見町役場



議会モニター会議

議会モニター会議を開催した。議会だより「あみ〜る」や本会議について様々なご意見・ご提案をいただき、委員から回答した。また、議会運営全般に対して委員と活発に意見交換を行った。

1年間を通して、議会改革及び議会活性化の推進に貢献していただいた議会モニターの皆さんに感謝の意を表し、議長から感謝状と記念品が贈呈された。



議会モニター会議の様子



議会モニターの皆さん

令和5年度の議会モニターを募集しています！
詳細はP19をご覧ください。



民生教育常任委員会

農福連携

令和4年10月13日 茨城県庁

茨城県では、共同受発注センターを設置し、企業や官公庁等の発注者と福祉事務所とのマッチングを実施している。その中でも農福連携については、共同受発注センターに農福連携アドバイザーを配置し、福祉事業所と農業経営体とのマッチングを支援しているほか、農作業等の経験が少ない福祉事務所を対象に農作業体験会を開催している。受注件数、金額ともに年々増加しており、マッチングの際のアドバイスもいただいた。今後は当町でも説明会の開催などを行った上で、農福連携を進めていきたい。



障がい児保育

令和4年11月4日 東京都港区立元麻布保育園

元麻布保育園は、待機児童解消や多様化する保育ニーズに対応するとともに、区内で初めて医療的ケア児・障がい児の集団保育を行うため、令和2年1月に開設された。医療的ケア児・障がい児の専用のクラスが設置され、それぞれのお子さんに必要な支援体制が整えられており、活動では健常児と様々な交流をしていた。当町で今後、建設が予定されている「(仮称)子育て支援総合センター」に「障がい児の相談・支援」の機能を持たせ、保護者を含めた支援を充実させていきたい。



コミュニティ・スクール

令和4年11月7日 牛久市役所

牛久市では、平成31年から全小中学校でコミュニティ・スクールを実施している。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のこと、学校運営協議会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定された法定の協議組織であり、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。当町でも阿見第二小学校が先行して実施しているが、課題を解決した上で、全校で展開していただきたい。



提言書を提出

令和4年12月6日 阿見町役場

「障がい児の保育」「コミュニティ・スクール」「GIGAスクール構想の推進」「適応指導教室」「農福連携」についての提言書を議長に提出し、議長から町へ提出した。

提言書提出の
詳細はコチラ



進・議・帯

進め議会！
連帯・連携！

議会活動

Until January
2023

議会が一丸となって二元代表制の一翼を担うべく、町政運営の調査・監視及び評価を行い、政策の立案・提言を行っています。

一致団結！

意識改革！

第8回議会報告会
議会運営委員会

令和4年11月6日

舟島ふれあいセンター



11月6日、舟島ふれあいセンターにおいて「第8回議会報告会」を開催した。今回の参加者は、議会モニター5名、一般参加者15名、議会・事務局関係者20名と、総勢40名が参加した。前回から意見交換会の時間を増やしているが、前回のアンケートではもっと多くの時間を望む声があったため、議会報告会の時間を45分間から20分間に縮め、意見交換会の時間を60分間から130分間に増やした。そのため開催時間についても、議会報告会初の試みとなる午後からの開催として、時間を多くとれるようにした。

議会報告会では、予算決算特別委員会、議会改革等調査研究特別委員会、広聴広報特別委員会という3つの特別委員会から、これまでの活動についての報告を行った。具体的には、予算決算特別委員会からは、政策形成サイクルのもと実施した事務事業調査と、その成果となる「議会事業評価に関する提言書」について、議会改革等調査研究特別委員会からは、マニフェスト大賞における躍進賞の受賞と、議員のなり手不足解消のための調査研究について、広聴広報特別委員会からは、議会だよりのリニューアルと、議会モニター制度についての報告となった。



広聴広報特別委員会からの報告の様子

町民と議員がひとつのテーブルで
～意見交換会～

意見交換会は、「防災について」と「自由意見交換」という2部構成で行った。前半は、「阿見町地域防災計画」について、「防災ゲーム」を通して意見交換を行うことで理解を深め、課題を抽出した。防災ゲームは、阪神淡路大震災の教訓から生まれたカードゲーム方式を取り入れた意見交換の仕組みで、参加者は防災に関する様々な課題について、Yes・Noのどちらかの立場から理由と意見を述べるもの。課題は「3000人の避難者がいるのに2000食の食事しかない。食事を配るか配らないか」といった判断が難しいものばかりで、参加者と議員がひとつのテーブルで活発に意見を述べ合う姿があちこちで見られた。

前回の議会報告会に引き続き、議会改革アドバイザーの岩崎弘宣^{ひろまさ}氏がファシリテーター（会議などをより良いものとする進行役）を務め、課題ごとの意見交換の後には「阿見町地域防災計画」と照らし合わせて取りまとめを行った。防災ゲームの時間は80分間を予定していたが、テーブルでの意見交換は大いに盛り上がり、当初の時間では足りずに15分間延長するほどだった。

後半の「自由意見交換」では、それぞれの議員が所属する常任委員会ごとのテーブルに分かれて、参加者は自身が興味のあるテーマを所管する常任委員会のテーブルに移動し、自由に意見交換を行った。前半の防災ゲームで意見を述べやすい雰囲気になったこともあって、活発に意見交換がされていた。30分間の予定は少し延長されたが、それでもまだ時間が足りないという声が多く、大盛況のうちに閉会した。

議会運営委員会より

メールでの申込受付を開始したり、意見交換会の時間を増やしたりと、議会報告会ではより良いものを目指していろいろな試みをおこなっています。コロナ禍の中ですが、感染症対策に十分注意しつつ、より多くの方に参加していただければと思います。興味を持たれた方は、次回の参加をぜひご検討ください。



防災ゲームの様子（1）



防災ゲームの様子（2）



自由意見交換の様子（1）



自由意見交換の様子（2）

次回開催のご案内 令和5年5月14日（日）本郷ふれあいセンターにて開催する予定です

愛媛県内子町議会が来庁

愛媛県内子町議会議会改革特別委員会の委員6名と議長、事務局長、合計8名が来庁され、阿見町議会の議会改革を視察された。内子町議会も当町議会もタブレット端末を導入しており、タブレット端末のペーパーレス会議システムを利用して、双方ともペーパーレスで研修を行った。議会改革アドバイザー制度をはじめ、議会ICT化、議会報告会、予算決算審査、災害時の対応、議会インターネット配信等における取り組みを紹介した。質疑応答では活発な意見交換も行われ、充実した研修となった。

令和4年11月10日 阿見町役場



視察時の様子

県南町村議会議員大会

県南地区の町村議員の情報交換と資質の向上及び研さんを目的として、河内町東共同利用施設「つつみ会館」で令和4年度県南町村議会議員大会が開催された。

大会宣言の後、議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備を期することなど、全14項目の決議が採択された。

続いて大井川和彦茨城県知事から「県政の取り組みについて」をテーマに、日本と茨城の課題や、前例踏襲ではなく新たな挑戦をすることの重要性、大井川知事がこれまでやってきた様々な分野での県政の取り組みについての講演があった。

当日はマニフェスト大賞の授賞式もあり、新たな挑戦の重要性をあらためて認識する一日となった。

令和4年11月11日 つつみ会館（河内町）



芳賀地区議会事務研究会が来庁

栃木県芳賀地区事務研究会（真岡市議会、市貝町議会、芳賀町議会、益子町議会、茂木町議会の職員で構成された団体）が来庁され、阿見町議会の議会改革を視察された。議会改革アドバイザー制度をはじめとする議会改革の取り組みを紹介し、オンライン会議や動画配信、議会モニター制度などについて質問をいただき、回答した。また、ペーパーレス会議システムやビジネスチャットの具体的な運用方法について意見交換を行い、充実した研修となった。

令和5年1月18日 阿見町役場



視察時の様子

『第17回マニフェスト大賞』授賞式

令和4年11月11日 六本木アカデミーヒルズ



11月11日に六本木アカデミーヒルズ49階タワーホールで開催された『第17回マニフェスト大賞』授賞式に出席した。



人羅格氏（毎日新聞論説委員）から表彰



左から 久保谷充議員、北川正恭氏（早稲田大学名誉教授）、吉田憲市議員

【受賞内容】

令和4年10月7日、第17回マニフェスト大賞において、過去最多となる応募総数3,133件から優秀賞40件が発表され、阿見町議会・阿見町議会事務局が、「躍進賞 優秀賞」を受賞した。

【阿見町議会・阿見町議会事務局の応募概要】

令和2年9月に議会改革等調査研究特別委員会を設置し、議会改革に取り組む中、令和3年4月より取手市議会事務局次長の岩崎弘宣氏に議会改革アドバイザーを委嘱し、助言・提言をいただきながら議会内において活発に議論し、議会改革が短期間で大きく前進した。主な成果としては、議員研修による資質向上、議会災害対応規程の制定、オンライン会議の体制づくり、意見交換・議会モニター制度導入による住民参加の推進などを挙げた。

【受賞事例研修会でのプレゼンテーション】

令和4年11月9日・10日の2日間にわたり、マニフェスト大賞で、優秀賞を受賞した取り組み事例を発表する「トップランナーに学ぶ受賞事例研修会」が開催され、プレゼンテーションを行った。



受賞事例研修会
壇上左から紙井和美議員、湯原事務局書記

【表彰伝達式】

12月6日に阿見町議会議場にて表彰伝達式を行った。



久保谷充議員から平岡議長へ伝達



表彰伝達式

阿見町議会モニター募集のお知らせ

★ 議会モニターの目的

阿見町議会として、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、議会改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的に実施します。

★ 議会モニターの活動

- (1) 会議の傍聴やYouTube阿見町議会公式チャンネル内のコンテンツの視聴をしていただき、議会の運営に関するご意見をいただきます。
- (2) 「あみ議会だより」や「阿見町議会ホームページ」などに関するご意見をいただきます。
- (3) 議長が依頼する町議会の運営に関する調査事項に回答していただきます。
- (4) 町議会議員と1年に1回以上、意見交換を行っていただきます。
- (5) その他議長が必要と認めることにご協力いただきます。

★ 応募資格

- (1) 年齢満18歳以上の町民（本町お住まいの人）で、かつ、阿見町職員、議員または過去に国もしくは地方公共団体の議員でないこと。
- (2) 町議会のしくみや運営に関心があること。
- (3) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

★ 募集人員

20人以内
※選考の結果は、令和5年3月末までにご連絡いたします。
※申込書の応募理由をもとに、選考させていただきます。
※応募多数の場合は、年齢、性別、地域等のバランスを考慮の上、選考させていただきます。

★ 任期

令和5年4月1日から令和6年3月31日

★ 応募期間

令和5年2月1日から令和5年2月28日まで（必着）

★ 応募要領

阿見町議会ホームページから申込書をダウンロードしていただき、郵送またはメールのいずれかで応募してください。

★ その他

町議会モニターの活動は無報酬となります。



議会モニターの申込は
下記QRからお願いします。



学校給食試食会

令和4年11月15・18日 学校給食センター

議会では年に1度、学校給食試食会を実施している。学校給食センターでは、町立保育所3ヶ所、小学校7校、中学校3校の1日約4,500食を調理している。季節に合わせた阿見町産・茨城県産食材を使用する「地産地消」に力を入れており、今年の試食会では「リクエスト献立」「茨城を食べようWeek」ということで、阿見町産の米や野菜、茨城県産の肉や豆腐を使った献立を試食した。



《11月15日》・牛乳・チョコレギサラダ・豚キムチ炒め・麦ごはん・ワンタンスープ・スイートポテト



《11月18日》・牛乳・和風サラダ・鶏肉のレモン煮・ごはん・白玉だんご入りきのこ汁・発酵乳



10月

- 26～28日 龍ヶ崎地方衛生組合視察研修
- 27日 稲敷地方広域市町村圏事務組合定例会

11月

- 4日 民生教育常任委員会所管事務調査（東京都港区）
- 6日 議会報告会
- 7日 民生教育常任委員会所管事務調査（牛久市）
- 8～9日 産業建設常任委員会所管事務調査（山形県寒河江市・山形市）
- 10日 愛媛県内子町議会行政視察受け入れ
- 11日 県南町村議会議員大会（河内町）
- 14日 議会運営委員会
- 15日 学校給食試食会
- 17日 総務常任委員会所管事務調査（江戸崎地方衛生土木組合）
- 18日 議会改革等調査研究特別委員会
- 18日 学校給食試食会
- 21日 全員協議会
- 21日 第5回臨時会
- 21日 民生教育常任委員会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 全員協議会

議会日誌

12月

- 6日 第4回定例会本会議
- 6日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 6日 予算決算特別委員会
- 7日 第4回定例会本会議（一般質問）
- 8日 第4回定例会本会議（一般質問）
- 9日 総務常任委員会
- 9日 民生教育常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 12日 議会改革等調査研究特別委員会
- 20日 全員協議会
- 20日 第4回定例会本会議
- 20日 予算決算特別委員会
- 27日 稲敷地方広域市町村圏事務組合臨時会
- 27日 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会

1月

- 10日 広聴広報特別委員会
- 16日 総務常任委員会
- 18日 芳賀地区議会事務研究会行政視察受け入れ
- 18日 広聴広報特別委員会
- 18日 議会モニター会議
- 18日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
- 19日 全員協議会
- 19日 予算決算特別委員会
- 25日 栃木県王生町議会行政視察受け入れ

令和4年 令和5年
10月～1月の

議会日誌

歩み

町びと インタビュー



三味線を教える井坂斗絲幸氏

今回は、地元阿見町で国内外で活躍している団体、喜楽座さんにインタビューをさせて頂きました。若者が生き生きと活躍する様子を多くのお弟子さんを交えて伺いました。

Q どのような団体ですか

A 日本伝統芸能集団、喜楽座は津軽三味線井坂流家元・井坂斗絲幸氏に師事し、津軽三味線・和太鼓・舞踊・唄・お琴など日本伝統芸能を総合的に演じる芸能集団です。本年4度目の全国優勝を果たすことができました。演奏は、総勢100名以上による大ホールから、少人数による学校公演や老人ホームの慰問まで様々なステージで、日本文化芸術の素晴らしさを特に若い人たちに伝えていきます。

Q どのような活動をしていますか

A 民謡・津軽三味線の喜幸会では、幼稚園児から90数歳まで様々な年代の方が、「明るく楽しく元氣よく」をモットーに三味線を学んでいます。

Q モットーとしている事は

A 茨城県内3つの高校では、授業として三味線・和太鼓を教えたり、部活で三味線やお箏の指導をしています。「筑波大学津軽三味線倶楽部 無絃塾」では、筑波大学内のサークルにて三味線・民謡の指導をしています。

に出会い支えられてきたことか。感謝と恩返しを歩んでいきたい。若い人を育て、地域に貢献し、文化芸術の素晴らしさを後世に継承したい。

Q 町にお願いしたいこと

A 阿見町の子どもたちに、文化芸術の素晴らしさを広く知ってもらいたい。音楽を共有し、心の琴線に触れながら、豊かに成長してもらいたい。その一翼を担うために、我々が学校に向き、そのお手伝いをしたいです。阿見町を文化芸術の香り豊かな街にしてほしい。

Q 政治に期待する事

A 若者が活躍し、幸せに生き生きと暮らせる社会を構築してほしい。阿見町に住んでよかった、ずっと阿見町に住み続けたいと思うために、安心して結婚し子育てができるように子どもの支援を充実させてほしい。また、心を豊かにする音楽を通し、心の交流を深めていくために、文化芸術の発展に力を入れてもらいたい。



編集後記

阿見町の人口は年々増加しており、間もなく5万人を超える勢いです。市制施行を目の前にして、「どんな街にしたいか」「住みやすく、魅力のある街とは」まずはひとり一人の声に耳を傾け、丁寧に話を聞くことから始まるのではないかと思います。

私達、地方議員の仕事は、議案の審議や質疑応答、条例の提案、行政の監督、町政報告会や意見交換会の開催、町民生活の調査活動など多岐にわたります。町民の声をいかに町政に反映させるか。誰も置き去りにしない社会のために、皆で頑張ります。

紙井 和美

次回定例会

2月28日(火)

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会は傍聴できます。

本会議は役場1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。

広聴広報 特別委員会

【委員長】

難波 千香子

【副委員長】

栗田 敏昌

【委員】

紙井 和美

紙井 秀慈

樋口 達哉

高野 好央